

「スマイル松山」プロジェクト ～ICTを活用した街づくり～（松山市）

【取組概要】

全国の自治体共通の住民課題(=健康増進・防災対策)と、「コンパクトシティ」、「国際観光都市」を目指す本市特有の観光課題(=回遊率・滞在率の向上)を解決するため、産学官一体となって、「ウォーキング(街歩き)」を軸に「ICT(情報通信技術)」を活用したまちづくりを展開。

- (1)【健康ICT事業】: 定期健診と活動量計による日々の健康チェックを組み合わせた健康管理サービスの開発・実証。(H25モニター参加者474名、うち30-50代が7割以上)
- (2)【観光・防災ICT事業】: 利便性の高い観光情報と有事の際の防災情報を一括して配信・利用できるスマートフォンアプリの開発・実証。(iPhone及びアンドロイドに対応)

【取組みの効果】

(1)【健康ICT事業】

- ・医学的・運動学的見地からも認められる、健康改善を達成
- ・平均歩行数の増加; 男性; 2,719歩増、女性; 1,520歩増 ※全国平均との比較
- ・体重: 0.79kg、BMI: 0.28、体脂肪率: 0.70%の減少 ※モニター参加者平均値
- ・アンチエイジング効果(内臓脂肪、運動能力、血管年齢、骨年齢、脳年齢)が全て向上

(2)【観光・防災ICT事業】

- ・アプリダウンロード数 6,685件(H26年7月5日時点)
- ・データ通信の既存インフラの活用により、コストを抑制
- ・観光ICT; アプリ利用者の滞在時間の向上に寄与(約7割がアプリの利便性に満足)
- ・防災ICT; 平時からの防災意識の醸成(8割以上が避難所等表示に満足)

【他団体へのアドバイス】

- ・本プロジェクトは、ICT(情報通信技術)の活用によって、全国の自治体が抱える共通課題と地域特有の課題とを同時に解決することを目的とした新たな取組み。
- ・また、将来的には、本システムを県下全域でネットワーク化することで、より多くの人を対象とした生活習慣病予防モデルに発展させ、成果を共有することも期待できる。

【創意・工夫した点】

(1)【健康ICT事業】

ウォーキングを軸に、「健康状態の把握」と「データ分析に基づくアドバイス提供」を遠隔で行えるシステムを愛媛大学(教育学部・医学部)と連携構築するとともに、健康運動指導士による直接指導を行った。

(2)【観光・防災ICT事業】

東日本大震災でも通信環境が安定していたデータ通信の既存インフラを活用するとともに、他の自治体でも安価に導入できるよう汎用性のある仕組みを構築した。

平常時と緊急時を一つの地図情報で閲覧利用でき、また、リアルタイムに情報発信できる仕組みを構築した。

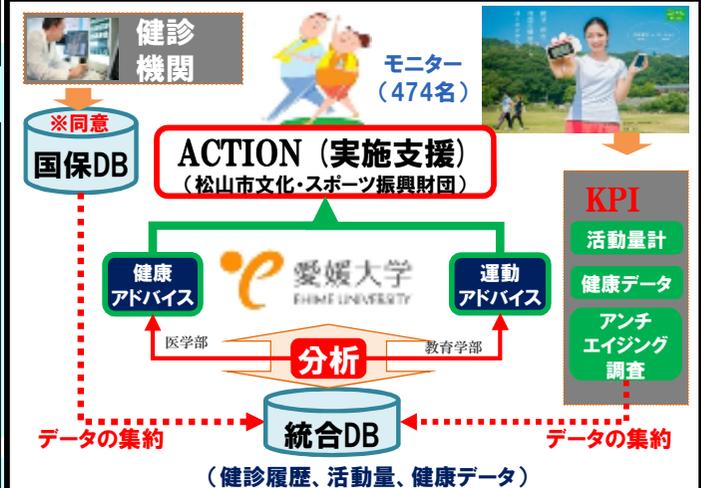
人口 517,711人

担当部署 産業経済部 観光・国際交流課
総合政策部 危機管理担当部長付
保健福祉部 国保・年金課

取組み事例のURL

<http://smile-matsuyama.com/index.php/app/>

【健康】健康寿命延伸を目的とする健康管理サービスの実証



【観光・防災】平時:観光、緊急時:防災で利用できるアプリ